

(様式 1 - 3)

## 宮古市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 29 年 6 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	106	事業名	鍬ヶ崎・光岸地地区都市再生区画整理事業	事業番号	D-17-8
交付団体	宮古市		事業実施主体 (直接/間接)	宮古市 (直接)	
総交付対象事業費	8,273,936 (千円)		全体事業費	8,489,936 (千円)	
事業概要					
<p>・宮古市東日本大震災復興計画 (基本計画) では、「すまいと暮らしの再建」「産業・経済復興」「安全な地域づくり」の 3 つを復興の柱として掲げており、本地区を含む宮古地域の復興まちづくりの方向性として、「防潮堤の整備や必要に応じた嵩上げ促進、背後地の高台活用など、安全安心な住宅地の整備」「漁港など産業関連基盤の計画的、段階的な事業展開」「避難タワーや避難ビルの設置、誰もが容易に避難することができる避難路、避難場所の見直し」「地域特性を活かしたコンパクトで快適なまちづくり」などが挙げられており、水産業の基地として、また貴重な観光資源を活かした観光レクリエーションゾーンとして、みなとまちの賑わいを創出する拠点として位置付けている。</p> <p>・当事業では、安全で安心して暮らせる市街地の整備を図るため、道路や公園等の基盤施設の整備を図る。また、水産施設や集客施設を整備することで、みなとまちの賑わいの再生を図る。</p> <p>・なお、当事業の実施に先立ち、土地区画整理事業予定地区において、地権者との合意形成や事業化の促進を図るため、緊急防災空地整備事業を導入し、公共施設充当地の先行取得を行う。</p> <p>●施行面積 23.8ha 施行期間 平成 25 年度～平成 34 年度 (清算期間 5 年を含む)</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 5 月 10 日) D-15-2 津軽石地区津波復興拠点整備事業より 216,000 千円 (国費 : H24 予算 162,000 千円) を流用。 これにより、全体事業費は 8,273,936 千円 (国費 : 6,205,449 千円) から 8,489,936 千円 (国費 : 6,367,449 千円) に増額。</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 25 年度&gt; 換地設計および街区確定測量、実施設計、用地取得、移転建物・工作物等の調査、道路等工事</p> <p>&lt;平成 26 年度&gt; 道路等工事、調査設計、管理調整、移転等補償、電柱ケーブル等移設</p> <p>&lt;平成 27 年度&gt; 道路等工事、調査設計、管理調整、移転等補償、電柱ケーブル等移設</p> <p>&lt;平成 28 年度&gt; 道路等工事、調査設計、管理調整、移転等補償、電柱ケーブル等移設</p> <p>&lt;平成 29 年度&gt; 道路等工事、調査設計、管理調整、移転等補償、電柱ケーブル等移設</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>・3月11日の東日本大震災では、宮古湾から巨大津波が住宅等押し流したとともに、蛸の浜からも津波が越えてきました。浸水面積は39.1haにわたり、浸水高はT.P. 5.4~9.0mとなり、最大浸水深が8.2mに達した。</p> <p>・鍬ヶ崎公民館や潮位観測装置が壊滅的被害を受けると共にシートピアなあと、宮古市魚市場、宮古漁協の冷凍工場や製氷工場等も被害を受けた。</p> <p>・建物被害は約 800 棟に及び、そのうち流失をはじめとする全壊被害が約 88%を占めている。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
<p>・上水道工事</p> <p>・防潮堤 (隣接) 工事</p>					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1 - 3)

宮古市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 29 年 6 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	16	事業名	津軽石地区津波復興拠点整備事業	事業番号	D-15-2-1
交付団体	宮古市	事業実施主体 (直接/間接)	宮古市 (直接)		
総交付対象事業費	691,600 (千円)	全体事業費	475,600 (千円)		
事業概要					
<p>【事業目的】東日本大震災津波により被災した津軽石地区の市出張所、公民館、保育所、消防分団屯所の公共サービス施設を一体的に整備し、津波が発生した場合においても市街地の都市機能を維持するための拠点となる市街地を形成し、宮古市東日本大震災復興計画の3つの柱である「すまいと暮らしの再建」、「産業・経済復興」、「安全な地域づくり」の推進を図る。</p> <p>【事業概要】津軽石地区の安全な内陸部(約 1.2ha)に市出張所、公民館、保育所、消防分団屯所を整備するのに加え、災害時を考慮した地区公共施設(道路、河川等)、津波防災拠点施設(耐震性緊急貯水槽)を地域等の合意を図りながら整備する。</p> <p>(事業間流用による経費の変更)(平成 29 年 5 月 10 日) D-17-8 鍛ヶ崎・光岸地地区都市再生区画整理事業へ 216,000 千円(国費:H24 予算 162,000 千円)を流用。 これにより、全体事業費は 691,600 千円(国費:518,700 千円)から 475,600 千円(国費:356,700 千円)に減額。</p>					
当面の事業概要					
<p>&lt;平成 25 年度&gt; 用地取得・造成設計</p> <p>&lt;平成 26 年度&gt; 埋文調査・造成工事</p> <p>&lt;平成 27 年度&gt; 施設工事</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災及び津波(津軽石川左岸浸水面積 21ha、最大浸水深 11.7m)により 207 戸が被災し、(全壊・流失率 54%)の甚大な被害を受け、宮古市津軽石出張所、津軽石公民館、津軽石保育所、宮古市消防団第 20 分団屯所が被災した。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
<p>建物は災害復旧事業により整備。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・津軽石公民館(公立社会教育施設災害復旧事業)</li><li>・津軽石保育所(社会福祉施設等災害復旧)</li><li>・消防分団屯所(消防防災施設災害復旧)</li></ul>					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					